

神奈川県立茅ヶ崎支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和6年度 神奈川県立茅ヶ崎支援学校 第1回 学校運営協議会
開催日時	令和6年6月14日（金） 9時30分～11時40分
開催場所	神奈川県立茅ヶ崎支援学校
出席者	令和6年度茅ヶ崎支援学校 学校運営協議会委員6名 令和6年度茅ヶ崎支援学校 学校運営協議会事務局等8名
会議資料	資料1 令和6年度茅ヶ崎支援学校運営協議会委員名簿 資料2 令和6年度学校運営協議会運営計画書 資料3 学校教育計画（令和6年度～令和9年度） 資料4 グランドデザイン 資料5 令和5年度 学校評価報告書（実施結果） 資料6 令和6年度 学校評価報告書（目標設定） 資料7 神奈川の特別支援教育の推進に向けて ～小・中学校との「人的交流」による地域における支援教育の充実 資料8 令和6年度第1回学校運営協議会パワポ資料 資料9 共生社会推進チーム資料
議事録	<p>【学校評価部会】</p> <p>(1) 令和6年度の学校目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の学校運営のポイント…「働き方改革」「防災共生」。 ・働き方改革…「年休の取得」「文書の簡潔化」「会議の在り方」を中心に。 ・防災共生…昨年度全国防災フェスに参加するなど成果をあげている。また発災時のスクールバスの避難協力を進めるなどの地域との連携。 ・共生チーム…共生をさらに推進。 <p>〈御意見等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「働き方改革」は「何をやるべきなのか」が問われている。 ○教員側は児童生徒に「どんなことがあっているのか」を考え、児童生徒は「何がやりたいか」を考え、それぞれを融合させていくことが大切。 ○自己選択と自己決定はすべての児童生徒に必要なこと。コミュニケーションの力が大切。 <p>【切れ目ない支援部会】</p> <p>(1) 人的交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブな学校、共生社会の推進 <p>〈御意見等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学校も小中学校も基本的には接し方は同じ。ポイントが分かればもう少し交流を進めていけるかもしれない。 <p>(2) 地域と連携した教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共生社会づくりを目指す教育 ・地域とともにある学校づくり <p>〈御意見等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同じ地域に住んでいる方同士の交流という視点が重要。それぞれの枠を超え、広げていけるとよい。 <p>【学校防災部会】</p> <p>(1) 今年度の防災活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共生を進める中で防災の対策もできる～つながりながら備える、備えながらつながる <p>〈御意見等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リスクマネジメントとクライシスマネジメントの両方を考えていく必要がある。 ○車中泊も体験してみることが大事だと感じる。 <p>【全体を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「働き方改革」は「やるべきことをやる」をしっかりと考えてやっていく。 ○通学支援や地域とのつながりの推進もとても良い取り組みである。 ○職員の心理的安全性が学校運営上とても大切である。